

KELES Newsletter

関西英語教育学会報 2012年度 第2号

事務局：〒657-8501 兵庫県神戸市灘区鶴甲1-2-1

神戸大学 国際コミュニケーションセンター 横川博一研究室内

Phone: 078-803-7689 E-mail: yokokawa@kobe-u.ac.jp

学会ホームページ: <http://www.keles.jp/> 2012年9月15日発行



巻頭言

“I touch the future... I teach.”

関西英語教育学会副会長 清水 裕子 (立命館大学)

この Newsletter がお手元に届くころには、きびしかった夏の暑さが嘘のように感じられていることと思います。

2012年、夏。いろいろなことがありました。その中のひとつに、1969年に人類で初めて月面に降り立った米国の宇宙飛行士・Neil Armstrong氏が亡くなられたというニュースがありました。1969年にはまだ生を受けていない KELES 会員の方も多いたと思いますが、人類初の月面着陸という歴史的な瞬間を、世界中の多くの人々がテレビなどのメディアを通して「目撃」したとされています。この放送がきっかけで宇宙に興味をもった小学生や、同時通訳の存在を知った中学生が、未来の自分へと夢をつなげていったということを知ったのは、ずっと後になってからです。私はといえば、扇風機にあたりながら、テレビの前に座わり、何気なく映し出される映像を見ていたのです。

当時は、世界の情報を得る手段として（少なくとも、私にとっては）テレビが大活躍をしていましたが、今はどうでしょう。テレビ、ラジオ、雑誌、新聞などのマスメディアはもちろん、マスメディアで得た情報をもとに Web 検索をするなどのクロスメディア型での情報収集も広がってきており、さらに、双方向性の性質を備えたメディアもできて

います。1969年の月面着陸の様子も、2012年の今、自分のPCを使って、キッチンでコーヒーを飲みながら映像と音声を確認することもできるのです。このようなことを考えると、急速にまわりはハイテク化してきており、私なんぞは、その流れについていけるか、いや、ついていけないのではないかと心配になって参ります。

英語学習についても然り。学習教材も紙媒体の枠組みからどんどん広がりがでて、学習する意欲があれば、いつでもどこでも効果的に学習することが可能。英語教師として、いささか複雑な気持ちになって参ります。しかし、ハイテク化の時代の中で、多くの技術基盤はローテクが原動力になっていることを考えれば、英語教育においても、地道な研究や教育現場での実践が、非常に重要な原動力になってくるとは思いませんか。その原動力を担うのは個人かもしれませんが、その個人と個人が関わりながら、和と環をひろげていくことが教育と研究には必要だと感じます。

ここで関西英語教育学会の「規約」に目をやってみましょう。本学会の目的は「英語教育及びその関連領域における理論と実践の研究に努め、会員相互の連携・交流を図り、広く英語教育研究の発展に貢献すること」（第2条）とあります。KELESの

さまざまな活動の中での出会いを大切にしながら、是非とも英語教育の原動力を育んでいきたいものです。

さて、最後にもう一人の宇宙飛行士に触れさせてください。NASA の Teacher in Space Project の参加者に選ばれ、宇宙を訪れる初めての教師となった Christa McAuliffe 女史の名を聞かれたことがあるでしょうか。1986年1月28日、チャレンジャー号の打ち上げ直後の爆発事故で、残念ながら犠牲となった7名の乗組員の内の一人で、高校の社会科の先生

だった方です。彼女のことばが書かれたバッジが、今も私の部屋の壁にかかっている、時々、教師になりたてのころのことを思い出させてくれます。KELES 会員のそれぞれが関わっている教育環境は違っていますが、目の前の学習者への思いは同じだと思います。なぜ教師という職業を選んだのか。なぜ英語を教えるのか。McAuliffe 女史のこのことばが何かを伝えてくれるのではないのでしょうか。

"I touch the future... I teach." (Christa McAuliffe)

第38回全国英語教育学会愛知研究大会 報告

開催日：2012年8月4日(土)・5日(日) 会場：愛知学院大学

第38回全国英語教育学会愛知研究大会が、2012年8月4日(土)・5日(日)の両日にわたって、愛知学院大学・日進キャンパスにおいて、開催されました。900名を超える参加があり、盛会のように終了しました。

大会ホームページには、会場風景の画像や Lourdes Ortega 先生の招待講演・ランチョンセミナーの資料(PDF)がダウンロードできますので、ご覧下さい。

<http://www.jasele2012aichi.jp/>

課題研究フォーラム 報告

「英語運用能力はいかに自動化されるか?—基礎研究と授業実践のインターアクション—」(関西英語教育学会)

コーディネーター：横川 博一 (神戸大学)

提案者：吉田 晴世 (大阪教育大学)

原田 康也 (早稲田大学)

竹内 理 (関西大学)

定藤 規弘 (自然科学研究機構)

本フォーラムのテーマは、外国運用能力の熟達化に伴う言語処理の「自動化」をどう捉えるか、

また、それは授業実践とどう関わるのか、であった。最新の研究成果について話題提供いただき、

1) 言語処理の自動化の視点から見た学習活動・教材、2) 授業実践の視点から見た言語処理の自動化とは何か、3) 学習者の外国語習得・処理を脳内処理基盤とともに探ることの意義、などの視点から議論した。

まず、原田康也先生(早稲田大学)には、「英語運用能力の自動性獲得—学習研究と授業実践の統合を目指して」と題して、時間的制約の大きい統合的産出課題、言語知識の総合的活用を求める産出課題の具体的実践、自律的共同学習環境の重要性などについてお話しいただいた。

次に、竹内理先生(関西大学)は、「L2音読と脳内活動の活性化—NIRSからの眺め」と題して、難易度の高いテキストを音読することや異なるタスクで繰り返し音読することが脳内活動の活性化を引き起こすことを、NIRSを用いた実証研究に基づき示された。

続いて、吉田晴世先生(大阪教育大学)は、「音韻ループ介在による模倣復唱を取り入れた外国語語彙指導」と題して、模倣・反復の役割について

教授法の歴史的観点から概観し、新規語彙学習における音韻ループの作用の重要性を指摘し、具体的な指導方法についても紹介された。

最後に、定藤規弘先生（自然科学研究機構・生理学研究所）は、“The role of the right cerebellum during foreign language vocabulary learning enhanced by the phonological loop: an event-related fMRI study”と題して、fMRI 実験に基づき、新規の音韻と意味

との長期記憶形成に口頭反復が及ぼす影響にかかわる脳内神経基盤について詳説された。

本フォーラムには、予想を遙かに超えて、およそ 200 名の参加者があった。この種のテーマに対する関心の高さがうかがえた。次年度に向けて、さらなる研究に取り組みたい。

報告者：横川 博一（神戸大学）

学会事務局からのお知らせ

会議報告

◆ 全国英語教育学会（JASELE）

平成 24 年度第 2 回理事会

2012 年 8 月 3 日（金）14:30～17:35 まで、ホテル・メルパルク名古屋に於いて、「全国英語教育学会（JASELE）平成 24 年度第 2 回理事会」が開催された。主な議題は、次の通り。

1. 次期会長選挙 候補者選考について
2. 事務局から総会に提起する議題について
3. 紀要 ARELE 24 号について
4. 全国英語教育学会 40 周年記念特別誌（仮称）について
5. 学会申し合わせ事項（案）について
6. 言語系学会連合への加盟について
7. 第 39 回北海道研究大会について
8. 第 39 回北海道研究大会におけるシンポジウム及びワークショップについて
9. その他

その他、第 38 回愛知研究大会、第 40 回四国地区担当研究大会などについての報告事項があった。

なお、議事録の詳細は、全国英語教育学会ウェブサイト（<http://www.jasele.jp/board/>）で確認いただけます。

KELES セミナーのご案内

◆ 関西英語教育学会 第 26 回セミナー

日時：2012 年 11 月 11 日（日）12:30～16:50

※12:00 受付開始（要事前登録：下記参照）

会場：摂南大学・大阪梅田キャンパス 14 階

（〒530-0001 大阪市北区梅田 2-2-2 ヒルトンプラザウエストオフィスタワー14 階）

テーマ：英語リーディング指導をダイナミックに！

内 容

誰にでもできる一英語による英語の授業
齋藤 栄二先生（京都外国語大学・教授）

効果的なリーディング指導ア・ラ・カルト
吉田 晴世先生（大阪教育大学・教授）

英語リーディングテストの考え方と作り方
卯城 祐司先生（筑波大学・教授）

参加費：会員 無料，非会員 1,000 円

参加方法：会場のスペースの都合上、本学会ウェブサイトの参加申込フォームにて、事前参加登録をお願いします。10 月 1 日（月）午前 10 時より受付開始。（※定員になり次第締めきらせていただきます。当日参加は、座席に余裕がある場合のみ受付させていただきます。）

今後の KELES の各種セミナーの開催予定は以下の通りです。詳細は、決定次第、学会ウェブサイト等でお知らせします。

◆関西英語教育学会 第 27 回セミナー

日時：2012 年 12 月 23 日（日）

会場：同志社大学・今出川キャンパス

◆関西英語教育学会 第 28 回セミナー

日時：2013 年 1 月 26 日（土）※予定

会場：天理大学・柚之内キャンパス

◆第 16 回卒論修論研究発表セミナー

日時：2013 年 2 月 9 日（土）

会場：神戸学院大学・ポートアイランド
キャンパス

各種お問い合わせフォームについて

お問い合わせには、学会ホームページの各種お問い合わせフォームをご利用下さい。

URL: <http://www.keles.jp/>

▶会計関係お問い合わせフォーム

年会費の送金、過去の年会費の納入状況、「10 周年記念紀要 DVD」等についてのお問い合わせには、本フォームをご利用下さい。

▶名簿関係お問い合わせフォーム

入退会に関するお問い合わせ、会員情報（住所・電話番号・電子メール）の更新等には、本フォームをご利用ください。

▶紀要関係お問い合わせフォーム

関西英語教育学会（KELES）学会誌『英語教育研究』（SELT）、卒論・修論研究発表セミナーに関するお問い合わせには、本フォームをご利用ください。

▶その他学会全般に関するお問い合わせ

学会ホームページ「事務局お問い合わせフォーム」をご利用下さい。または、学会事務局 yokokawa@kobe-u.ac.jp 宛（横川）までご連絡下さい。

